

ロスチャイルド、豊臣秀吉、本多静六は、なぜ大富豪になれたのか？

# 『暴落を買え！ 年収 300 万円から始める資本家入門』 インデックス投資と短期売買では資産家になれない

(著者)阿部修平

〈価格〉1,300 円＋税 〈発売日〉2017 年 5 月 24 日 〈出版元〉ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区:代表取締役社長 唐津隆)は、2017 年 5 月 24 日に『暴落を買え！ 年収 300 万円から始める資本家入門』を発売いたしました。

### ◎本書の要点

#### 富を築きたいなら「株」しかない

- 資本家こそが**一番大きな分配**を受けられる
- 種銭作りは本多静六の**「四分の一貯金」**の実践を
- 好景気には勤儉貯蓄を、**不景気には思い切った投資**を
- いい会社に投資するための**7つの基準**
- インデックスファンドの投資先には**問題企業も組み入れられている**
- 普通の勤め人の**多くが億万長者になった会社**がある
- 「いい会社」を「割安な株価」**で買う方法とは――
- 才覚一つで**社会的階層は変えられる**

#### <著者プロフィール>

阿部修平(あべ・しゅうへい) スパークス・グループ株式会社代表取締役社長

1954 年、北海道生まれ。78 年、上智大学経済学部卒業。80 年、ボストンのバブソンカレッジで MBA 取得。81 年、野村総合研究所に入社。82 年、ニューヨークのノムラ・セキュリティーズ・インターナショナルに出向し、米国の機関投資家向けの日本株のセールスに従事する。85 年、アベ・キャピタル・リサーチをニューヨークで設立。世界的投資家、ジョージ・ソロスから 1 億ドルの運用を任される。89 年、日本でスパークス投資顧問(現・スパークス・グループ株式会社)を設立。2001 年に上場。ハーバード大学ビジネススクールで AMP 取得。『株式投資の王道』(小宮一慶氏との共著、日経 BP 社)、『株しかない』(幻冬舎)など著書多数。

### ◎本書の概要

「資産家も資本家も、自分にはまったく関係ない」と思っている人は、多いでしょう。なぜなら、世の中の多くの人が、どこかしらの会社に雇われている勤め人だからです。日々の労働に追い立てられ、心の底から自由である人は少ないはずです。しかも、すべての人が必ずしも、就きたい職業につけて、やりたい仕事をやっている訳ではないでしょう。やりたくない仕事でも、生活(お金)のためにしかたなくやっている…そんな人生を、自らが 1 歩踏み出すことで、変えていこうというのが本書の趣旨です。

特に昨今、IT 技術の進化によって、私たちを取り巻く労働環境も劇的に変わろうとしています。今ある仕事が、この先 5 年後、10 年後も安泰である保証はどこにもありません。そんな激動期を生きる私たちが今できることとは、何なのでしょう。それは、「資本家になること」であると、本著者のスパークス・グループ株式会社創業者で社長を務める阿部修平氏は話します。スパークス・グループは、顧客から集まってきた資金を、株式などで運用しており、その額は 1 兆円ほどです。しかも、株式上場している日本を代表する独立系運用会社です。

投資家であり、企業家である阿部氏は、世界中の大富豪が金銭的に豊かになれた方法は、たった一つしかないといいます。しかも、今の時代であれば、それを実現するには「株式に投資するしかない」と断言しています。

しかし、ただやみくもに株にお金を投じていては、資産家にはなれません。まず株式に投資するための資金をどう作るのか。その資金をもとに、どのような投資をしていけばいいのか、など、資産家になるための「具体的な方法」を、阿部氏のこれまでの経験からわかりやすく語っています。投資初心者から上級者まで。独特の視点で語られる「投資論」は必見です。



＜本書の内容＞

## 序章 資本家になろう

“資産家”になるのは大変だが、“資本家”には簡単になれる  
資本はこうして還元される  
資本家として経済的自由を勝ち取る  
誰もが資本家になれる時代

## 第1章 お金はどうやって生み出されるのか

シェアリングの浸透で、資本主義はなくなるのか  
ブルドーザーもない時代に、なぜピラミッドはできたのか  
資本家こそが一番大きな分配を受けられる  
生活のための労働から解放される  
本多静六の投資の極意「好景気には勤儉貯蓄を、不景気には思い切った投資を」

## 第2章 富を築く方法はたったの一つ

ロスチャイルド家はなぜ大富豪になれたのか  
豊臣秀吉の蓄財法  
誰にもわからない未来の成長を裁定する  
公開情報で思いついた投資のアイデア  
AI、IoTへの投資で未来を創る  
資本主義の在り方が大きく変わる

## 第3章 資本家への第一歩は貯蓄から

天引き積み立てで種銭を作る  
種銭はいくらあればいいのか  
お金に対して雑な人は、お金に嫌われる  
何でもバリュエーションしてみる  
給料が上がったら、その全額を積み立てに回す  
よい会社の株式をできるだけたくさん持つ

## 第4章 インデックス投資と短期売買では資産家にはなれない

消去法で支持されているインデックス投資  
よい会社と悪い会社が混在するインデックスファンドのポートフォリオ  
アクティブ運用のよし悪しを見極める方法  
長期で見ると、アクティブ運用は本当にインデックス運用に勝てないのか  
「プロが選んでも素人が選んでも結果は同じ」ではない  
短期売買は単なる投機でしかない理由

## 第5章 いい会社に投資するための7つの基準

富を築きたいなら「株」しかない  
【いい会社を選ぶ基準～その①】ビジネスモデルがシンプルで理解しやすいこと  
【いい会社を選ぶ基準～その②】本質的に安全なビジネスであること  
【いい会社を選ぶ基準～その③】有利子負債が少ない、強固なバランスシートを持っていること  
【いい会社を選ぶ基準～その④】高い参入障壁に守られたビジネスであること  
【いい会社を選ぶ基準～その⑤】持続可能な高ROEとそれに見合う利益成長があること  
【いい会社を選ぶ基準～その⑥】景気動向に左右されずに生み出される潤沢なキャッシュフローがあること  
【いい会社を選ぶ基準～その⑦】卓越した経営者がいること  
「いい会社」を「割安で」買うためには

## 第6章 いい会社に投資するための7つの基準

才覚一つで社会的階層は変えられる  
強い想いを持った者が勝つ  
謙虚であることこそ最強である  
規律・節制を重んじよ

著者への取材、本からの抜粋、企画へのご協力、読者プレゼント ご対応承ります。

《 お問い合わせ先 》

株式会社ビジネス社 広報担当：松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

TEL 03-5227-1602/FAX 03-5227-1603